

# 広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]  
(平成26年6月解析分)

## 1 今月の注目すべき感染症<マダニ等が媒介する感染症に注意しましょう!!>

### ○ 広島県でみられるマダニ等による感染症(四類感染症)

マダニが媒介する感染症には、平成25年2月に県内で初となる患者が確認された重症熱性血小板減少症候群(SFTS)や日本紅斑熱、ダニの仲間であるツツガムシが媒介する「つつが虫病」などがあります。潜伏期間や症状の特徴などについては次表のとおりです。

疾病名	潜伏期間	症 状		発生状況	
		初期症状	特 徴	H25年	H26年6月15日現在
日本紅斑熱	2~8日		・発熱:急激に発熱(38~40度) ・発疹:発熱の後にやや遅れて、四肢や体幹部に米粒大や小豆大の紅斑(痛みやかゆみはない)が出現(手のひらにも出現) ・刺し口:腹部や背部, 外陰部, 大腿部など隠れた部分にある場合が多い(「かさぶた」を形成するが, つつが虫の刺し口ほど大きくない)	27	3
つつが虫病	10~14日	かぜ様※1	・発熱:急激に発熱(38~40度) ・発疹:発熱後, 顔面や体幹部に米粒大や小豆大の紅斑(痛みやかゆみはない)が出現 ・刺し口:臀部, 外陰部, 大腿部や腹部など, 皮膚の柔らかい隠れた部分にある場合が多い(特徴的な「かさぶた」を形成)	15	2
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	6日~14日		・発熱:急激に発熱(38~40度) ・消化器症状:食欲低下, 嘔気, 嘔吐, 腹痛, 下痢, 下血, ・その他の症状:頭痛, 筋肉痛, 神経症状(意識障害, けいれん, 昏睡), リンパ節腫脹, 呼吸器症状(咳など), 出血症状(紫斑)	4※2	2

※1 倦怠感, 寒気, 発熱など

※2 平成25年3月4日以降分(平成25年2月19日発表分は含んでおりません。)

◎これらの疾病は、臨床症状がよく似ているので、診断には抗体検査や遺伝子検査が必要です。

☆ つつが虫病:民間の検査機関で対応が可能です。

☆ 日本紅斑熱・SFTS:各保健所(広島市は各保健センター)を通じて検査を行っています。

### ○ 予防方法等

SFTSウイルス, 日本紅斑熱リケッチアを保有しているマダニやつつが虫病リケッチアを保有しているツツガムシ(ダニの一種)は, 限られていると考えられていますが, 初夏から秋にかけてマダニ等の活動が活発になることから, 感染を予防する対策が必要となります。

これらの感染症を予防するためには、**マダニ等に咬まれないようにすることが重要です。**

農作業, レジャーや庭仕事など屋外で活動する際には, 次の点に注意してください。

<ul style="list-style-type: none"><li>・長袖, 長ズボンなどを着用して皮膚の露出を避け, ズボンやシャツの袖などを入れ込んでマダニ等の吸着や入り込みを防ぎましょう。</li><li>・野外活動の後は, 体や服を叩き, マダニ等に刺されていないか確認しましょう。</li><li>・帰宅後は, すぐに入浴して体をよく洗い, 脱いだ衣服は放置せずすぐ洗濯するか, ナイロン袋などに入れて口をしぼっておきましょう。 ※マダニは, 体にとりついてすぐに咬むのではなく, 体の柔らかい部位を探して咬む習性があります。</li><li>・吸血中のマダニ等を見つけた場合は, できるだけ医療機関で処置してもらいましょう。 ※マダニは, 体の部位をつまんで引っ張ると口器がちぎれて皮内に残ることがあるため, 口器を残さない方法でマダニを除去する必要があります。</li><li>・野外活動の後, 約2週間後頃までに発熱や発疹, 消化器症状(食欲低下, 嘔気, 嘔吐, 下痢, 腹痛)の症状が現れた場合は, 念のために医療機関を受診しましょう。</li></ul>
--

マダニ等が媒介する感染症に関する詳しい情報は, こちらのホームページを御覧ください。

○ 広島県ホームページ「マダニが媒介する重症熱性血小板減少症候群(SFTS)に注意しましょう!!」

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/sfts-yobou.html>

○ 広島県立総合技術研究所 保健環境センターホームページ

・日本紅斑熱について: <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hec/hidsc-kansen-wadai-nihon-kouhannetu.html>

・つつが虫について: <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hec/hidsc-kansen-wadai-tutugamushi.html>

○ 厚生労働省ホームページ「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)に関するQ&A」

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html)

## 2 疾患別定点情報

### (1) 定点把握(週報)五類感染症

平成26年5月分(平成26年5月5日～平成26年6月1日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	419	0.92	0.62	↓	11	ヘルパンギーナ	71	0.25	0.23	↑
2	RSウイルス感染症	27	0.09	0.16	↘	12	流行性耳下腺炎	213	0.75	0.74	↗
3	咽頭結膜熱	276	0.97	0.68	↗	13	急性出血性結膜炎	2	0.03	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	688	2.41	1.82	↗	14	流行性角結膜炎	37	0.49	1.14	↘
5	感染性胃腸炎	2,606	9.14	7.19	→	15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
6	水痘	310	1.09	1.52	↗	16	無菌性髄膜炎	2	0.02	0.03	
7	手足口病	19	0.07	0.92	↑	17	マイコプラズマ肺炎	3	0.04	0.21	
8	伝染性紅斑	12	0.04	0.25	↗	18	クラミジア肺炎	2	0.02	0.00	
9	突発性発しん	140	0.49	0.54	↘	19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	42	0.50	-	↘
10	百日咳	3	0.01	0.09							

### (2) 定点把握(月報)五類感染症

平成26年5月分(5月1日～5月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	65	2.83	2.09	→	24	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	78	3.71	5.20	↘
21	性器ヘルペスウイルス感染症	16	0.70	0.75	↑	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	15	0.71	1.81	↗
22	尖圭コンジローマ	14	0.61	0.59	↘	26	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0.00	-	
23	淋菌感染症	21	0.91	0.92	→	27	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0.05	0.18	

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

※ 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成23年2月1日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

#### 急増減疾患!!(前月比2倍以上増減)

- 急増疾患 手足口病(3件→19件)  
ヘルパンギーナ(25件→71件)  
性器ヘルペスウイルス感染症(6件→16件)
- 急減疾患 インフルエンザ(1,645件→419件)

#### 発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患,月報対象8疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～27	
定点数	43	72	19	23	21	178

## 3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	48	結核(48)〔西部保健所(6),西部東保健所(2),東部保健所(3),北部保健所(3),広島市保健所(18),呉市保健所(12),福山市保健所(4)〕
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症(2)〔西部東保健所〕
四類	9	A型肝炎(3)〔西部保健所(2),広島市保健所(1)〕,レジオネラ症(4)〔西部保健所(1),広島市保健所(3)〕,重症熱性血小板減少症候群(1)〔呉市保健所〕,日本紅斑熱(1)〔福山市保健所〕
五類全数	11	アメーバ赤痢(1)〔呉市保健所〕,ウイルス性肝炎(2)〔西部保健所(1),広島市保健所(1)〕,急性脳炎(3)〔広島市保健所(1),呉市保健所(1),福山市保健所(1)〕,梅毒(1)〔広島市保健所〕,侵襲性肺炎球菌感染症(3)〔広島市保健所〕,後天性免疫不全症候群(1)〔西部保健所〕